



(社) 芦屋市シルバー人材センター

はっらっ 芦屋

2007・7 夏号 No.4



メールアドレス ashiya@sjc.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

あでやかに咲いた花ショウブ 芦屋中央公園で

撮影 笹部成雄 (会員番号873)

平成19年度
通常総会

20周年を迎え一層の発展

さらなる飛躍！
今年設立20周年を迎える、芦屋市シルバー人材センターのこれからのスローガンです。
風薫る5月24日、ルナホールで平成19年度通常総会が開催されました。ルナホールでの開催は、昨

年に引き続き2度目となり、昨年を大幅に上回る242名の会員が参加。委任状提出は237名となり総会が成立しました。
林理事長の挨拶を始めてとして、山中市長、市議会からは木野下民生文教常任委員長からのお祝いの言葉が続ききました。永年会員表彰

は今年は大本、小寺会員が受賞されました。
議事は、横山議長の見事な進捗ぶりや次々と審議が進み、事務局の説明もスムーズに、事業計画等の総ての議案は満場一致で採択されました。
20周年のスローガン「さらなる

飛躍」に向かって新しく第一歩を踏み出す素晴らしい総会となりました。

今年には議事終了後に「安全講習会」が行われ、安全に対する意識をより深める絶好の機会でした。北野安全委員が今年の安全標語の発表と体験談を披露。安全就業推進員の宮内職員からは、事故状況報告、安全心得の説明があり、参加者全員が安全についてあらためて心を引き締めました。

ルナホールの隣の市民センターに場所を移した懇親会は、会員同士が杯を重ね合い、和やかで明るく、晴れやかな笑顔に包まれました。

平成19年度 安全標語

優香

今日一日 無事故重ねて

出る笑顔

宮本 允子

入選

安全は まずは

心の準備から

五味 慶二



白井事務局次長（左手前）の説明でスムーズに議事が進行



和やかな雰囲気にもまれた満員の会場



宮内職員による安全講習 右は安全委員の皆さん

永年表彰を受ける右から小寺、大本会員



受付は地域班が担当



会話も弾む懇親会場

記念事業案着実に進行

設立20周年記念事業実行委員会の2回目が5月31日に開かれました。四部会で分担した検討事項は順調に進行していますが、この大イベントを成功させるためには、出来るだけ多くの会員の参加と協力を求めることが必要と再確認。そのため、スケジュールなどの報告とお願いを、折に触れ会員に配布することになりました。各部会の現状は次の通りです。

式典イベント部会

一、二部に分かれた式典スケジュールは大体決まりました。潮見中学マーチングバンドの演奏で始まり、功労者、発注者などの表彰も行われます。二部は落語家・桂こけ枝さんの講演。目玉は、豪華賞品が当たる抽選会。お楽しみに。

ボランティア部会

市内のバス停に、センター名入りのベンチの設置や発注者に名入りのマグネットバーの贈呈を予定しています。市内の6保育所や和風園を訪問。子供たちやお年寄りとの交流を深める日程も大体きまりました。また、地域まつりへの参加、雑巾の寄付も考えています。

記念誌部会

オールカラー約六十ページで、平成19年度内に発行します。表紙、美しき芦屋、会員活動、就業状況、20年の歩みなど、多彩な写真を編集集中。ユニークな試みとして、会員の皆さんの声を出せるだけ誌面に反映するため、各ページに「私の一言」(仮題)というコラムを掲載します。応募については追ってお知らせしますが、ご協力よろしく。

会員活動部会

式典に合わせて、11月17日〜18日に市民センター301号室で、会員の作品展を開催します。応募方法、作品の種類、搬入などについては、決まり次第お知らせします。当日、一瀬会員によるポトルシップ(今号のはつらつギャラリ参照)の制作実演を予定。その他、スポーツ大会参加、体力測定、各種同好会の推進も計画しております。

ますます輝く『大金星』

「ニュース速報」でお知らせしたように火災警報器設置はテレビや新聞で報道されました。兵庫県シルバー人材センター事業協会も、3月25日付神戸新聞に広告（5ページ参照）を掲載して応援。設立20周年に打ち上げたわがセンターの『大金星』にますます輝きを加えました。

この素晴らしい企画は、生活支援委員会とともに山本理事をはじめ各会員がそれぞれの人脈を活かし、力を合わせた賜です。

火災警報器取付事業 兵シ協も広告で応援



中上・宮本両会員の火災警報器取付作業。広告用に撮影するのは神戸新聞のカメラマン（大原町で）

男女ペアで作業順調



片山 シズ子
(会員番号 953)

私達、芦屋市シルバー人材センターが地域自治会の協力を得ながら、住宅用火災警報器の取付事業をスタートさせて4ヶ月がすぎました。すでに10町自治会（左表参照）が終了しています。

火災警報器取付班の一員として、取付工事の男性が脚立に登ったり降りたり、の不安定動作が出来ただけ少なくすむよう手伝いの傍ら、発注者からの設置代金を頂いたり、立ち会って下さった発注者と確認事項のチェック等を行っています。また、お庭や居住者の状況に合わせ、芦屋市シルバー人材センターのPRや会員登録を勧めるなど、結構忙しくこの事業に携わっています。

訪問の日時、設置代金の事前連絡などは安価プラス安心感に繋がります。「ありがとうございます。と取付をされたご家庭からは感謝の言葉を頂いております。

この事業を通じて家庭を中心とした発注者の安全な生活が守られると共に、当センターへの受注拡大へと繋がることを願っています。

住宅用火災警報器取付状況 (平成19年6月末現在)

| 町名 |
|------|
| 船戸町 |
| 大原町 |
| 春日町 |
| 清水町 |
| 浜町 |
| 竹園町 |
| 大榭町 |
| 西蔵町 |
| 三条南町 |
| 川西町 |

市内58町中、10町実施済
(7月以降、6町の予約有り)



横山 襄 (会員番号609)

高津 孝作 (会員番号968)

昨年、消防法が改正されたので、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。消防本部がPRし、芦屋シルバーも独自のチラシを作って受注活動をしました。が、ちっとも注文がきまらなかった。ほかの都市でも同様な状態が続いているようです。

それが、今回、船戸町自治会とタイアップ企画をしたところ、町内の約150戸の戸建て住宅の4割にあたる62世帯から124個もの注文があり、特に高齢者の方々から大層喜んで頂くという、大成功を収めました。

なぜ、テレビ・新聞が大きく報道？

私達は、さらに市内の全域にこの企画を進めていきたいと考えました。そこで、テレビや新聞の力をお借りしようと考えたのです。ひよっとしたら、他の都市にもこの方法が伝わり、全国に広がるかも……と、夢を見ながら。

NHKも朝日新聞、神戸新聞も私達からのメッセージを理解してくれました。多くの市民と同様、この法律のことや普及が頓挫して

いることをあまり知っていませんでしたが、この3社には直接説明したところ、大変好意的に報道してくれたのです。

企画が成功した秘密なんてありません。法律が改正されたのに、設置は進まず、相変わらず高齢者が逃げ遅れて死亡の報道が続く日々。なんとかしないと、最初の冬が過ぎ

てしまう……そんな時、「注文を待っている」のではなく、「注文を取りに行こう」と、発想を転換してみたら道が開けました。まとめて発注すれば警報器の価格は安くなるはず。計画的に据付工事をすれば、工事費は安く出来るはず。こうして、町単位で注文を取る仕組みが出来ました。

船戸町自治会の皆さんは、「シルバーさんなら安心」「半額なら買いたい」「悪質業者を予防できる」と、役員さんがチラシ配りから申込書の回収までして下さいました。こうしたことが、成功につながりました。報道された後、市内外からの反響が大きく、市内自治会からの予約も次々と入っているそうです。次の冬までに市内すべてに広めたいと願っています。

地域を暮らしやすく元気に



男性会員の山中さんが火災警報器を設置している間に、女性会員の宮本さんが使い方を説明する＝芦屋市内

芦屋市の高齢化率は引続き、阪神間では最も高い。高齢者を火災から守ろうと昨年六月に消防法が改正され、各家庭に火災警報器の設置が義務付けられたが、既存住宅では五年間の猶予があることから普及率は低い。

芦屋市シルバー人材センター(林一夫理事長、会員五百四十人)に、芦屋消防署から「力を貸してもらえないだろうか」と相談があった。二天井に火災警報器を取り付ける

芦屋自治会とタイアップして 高齢者宅に火災警報器

最近男性の会員もたくさん参加している。天井にねじで取り付ける作業はお手のもの

家事サービス「便利班」

山本徳高さん

悪質な訪問業者追放にもなる」と積極的に取り組んでくれる自治会が次々現れた。芦屋市が設置を定めている煙感知警報器は、自治会単位で取り付けるには便利班の男女二人が出かける。男性が取り付けている間、女性が警報器の説明をする。時には高齢者の話し相手になって時間を取られることもあるが、これも便利班の仕事のうちだと喜んで応じている。

すでに百八軒、二百三十九個の注文があり、大忙しだ。「芦屋の安全度を高める仕事」ができて、シルバー人材センターの会員になつてよかったと張り切っている。芦屋市シルバー人材センター

1番07973321414



楽吟集

宮本 允子

(会員番号26)

孫は目の中に入れても痛くないなんて、申します
が、トンデもない。痛むのです、フトコロ
が・・・。ヤレ、年玉だ、入学だ、成人式だと。
今回は、わが孫篇です。

合格と聞いて切なさまさりける
年金で「祝」を出さむと思えば

「おばあちゃん、合格したよ」の知らせはまさに、
嬉しいような悲しいような・・・。

孫二十歳少し恥じらい紹介す
ライオンヘヤーのボーイフレンド

若いということは、本当に素晴らしい。お肌も匂
い立つよう。そう、私にだつてあつたのですよ。
いい男に胸トキメかせた二十歳の頃が。

「あの男とはもう別れたの」と肩すくめ
笑顔こぼれる孫二十一

そうよ。つまらぬ男はさつきと振りなさい。それ

が賢い女というもの。でも「見た目よく、稼ぎがよ
くて健康で」と、あまりカンペキを求めると嫁ぎ遅
れるでえ。

こんなにも燃える自分がまだ居たか
花園観戦孫のトライに

ラグビーのルールも知らない私ですが、花園を初
体験。孫のトライにただ絶叫する。

食べ盛りの孫らにラーメン食べさせて
それから向かう回転寿司屋

一番にチャーハン餃子注文す
孫連れて行く中華のルール

二十三歳から十二歳まで七人の孫らの食欲はハン
パじゃない。うっかりリクエストして「焼肉！」な
んて言われた日には、気が遠くなる爺と婆なのであ
ります。



森脇 一成

(会員番号613)

団塊の 言葉呑込み 背をのばす
飛び越えて 団塊世代 懐しい

パソコン教室 奮闘記

中原 伸二

(会員番号786)

昨年暮れの、当センター主催の
体験コースで、入門コースに入れ
て貰い、1月から本講座に通って
いる。

私のパソコン技術は、右手の人
さし指一本による、ワードの文書
作成が辛うじて出来る程度であつ
た。

受講の目標は、エクセルで計算、
作表ができること。デジカメのプ
リントと加工。インターネットで
世界中から欲しい情報を自由に集
めることである。垣根は高いが、
パソコンは、『行動的に生活する』
ために、車と共に有効的な道具で
あると聞いて、何とか最後まで頑
張ろうと決心した。

第4回目でインターネットの講
義を受けていた時のことである。
当時、私は専門書で法隆寺五重塔
の情報を集めている最中であつた
ので、情報の検索方法を質問した。
鈴木先生は直ぐにYahooのホー
ムページを開き、法隆寺で検索、
七十二万件余りあることを見せて
下さった。キーワードに五重塔を

わが家のお宝

寺尾 小夜子
(会員番号984)

二〇〇六年十二月、東京三越より白木の箱が届きました。送付状には「エドモンド・G・コートロール」とあります。「あつ！エディさんからだ！」と胸はずむ思いで開封してみると、香蘭社の陶器で「茶席の花」の銘のついた花瓶でした。どうしてこれが「我が家のお宝」になるのかお話ししましょう。

日米交流の記念碑

三年前、60歳になったのを機にシルバーに入会し、初めての発注者が米国人の生活支援でした。彼は40歳のバツイチで目下独身、職業は弁護士でした。テキサスに住む両親の写真を見せて下さり100kgに近い2人のDNAは自分にも遺伝率が高いとかで75kgをキープしたい為にダイエツト料理を週三回作ることでした。又、料理以外にもアメリカ式家政法のパンフレットを作成して下さり、それをもとに一年、半年、週一と家事を細分化することから合理的な家政術を

教えて下さり、「あつ、こうすれば主婦としての尊厳を損なうことなく、週末は夫婦でパーティなんて事もライフスタイルとして定着するのだな」と納得させられたりもしました。又、パーティの形式も実にユニークで、アジアの日、シネマの日、



ジャズを聴く日、女性だけの日、など個性を重視する国柄なのだと再認識しました。

ところが、就業して半年目に夫が末期がんの告知を受けた時、スタッフを替えてもらうしかないと思いい、その旨を伝えた所、「あなたはどうか考えるのか？」という返事。

「ええ？それはないでしょう？我が家のピンチなんだけれどな。私にコメントさせるのか？」しかし、不思議なもので、この質問は実に私の深層心理を突くものとなったのです。私の心の奥には「辞めたくない、日米交流を続けたい！」というのが真実。「エディさんの仕事はとても楽しい」と答えていました。彼は「オー！ノウプロブレム。自由な日と時間に来なさい」と言ってお下さり、東京へ転出される迄の約二年半の日米交流は続いたのでした。

という訳で東京から届いたこの花瓶、エディさんはどんな思いで選んでくださったのでしょうか。白地に八面体の切り面には、桔梗、水仙、山茶花、椿など茶室の花が清楚な中に愛らしく描かれています。「女心を知っているね」と夫は言いました。最近では東京でエディさんのハウスキーパーをされている方から電話があつて「芦屋のママ（私の事）に結婚式に来て貰いたい」と知らせを受けました。

夫の癌の事を気にかけて下さり、又、奇跡的としか言いようのない回復で社会復帰した夫にとつてもこのエディさんからの花瓶は我が家の「お宝」になっています。

加えると七万九千件に絞られ、更にキーワードを増やす毎に、必要情報が要領よく絞られていった。

これを見たらもう待てなかつた。娘のパソコンを貰い受け、既設の光ブロードバンドに接続した。電気屋、NTT、プロバイダー、パソコンメーカーに何度も電話して操作方法を問い合わせ、空回りが多かつたが、三日かけて接続した時は嬉しくて跳び上がった。

早速、五重塔の情報をまとめた。また、我がセンターのホームページを開いて目を通した。更に、市立図書館の蔵書検索も行った。

何れも写真、説明文、関連情報がふんだんに現れ、驚きだつた。そんな訳で、今後の展開に胸を膨らませ、次回の講義を心待ちする日が続いている。



パソコンの講習を受ける中原さん
(上宮川文化センターで)

春期会員研修バスツアー H19.6.20. (水)

出石散策・コウノトリの郷公園・久美浜

天気よし、景色よし、料理よし、買い物よし、すべてよし



コウノトリの郷公園



丁度一ヶ月前
の5/20に生
まれた雛



巣の実物大模型
実際の巣は特別
室にあり見学出
来ない。



丹後久美浜・へきすい御苑での宴会風景



最後に海産物のお買い物



へきすい御苑の露天風呂から見た海の景色は絶景・向こう岸は久美浜カンツリークラブ



健康の秘訣

最長老 会員番号7

大原広臣さんの巻

私は大正13年3月生まれの83

歳。60歳で「労友会」に入りました。この会が芦屋市シルバー人材センターとして発足のときには事務局に協力した中の一人ということもあって、当センターには人一倍愛着を感じています。

仕事に対しては雑念を払い、常に前向きに取り組み、入会以来一貫して除草班に在籍、一年中屋外作業に従事しています。

外気に触れて

阪神大震災から岩が平のモンテペロバラ園の管理業務も担当することになり、現場までの坂道を、自転車です30分かけて通う日々。作業も除草、剪定、消毒、施肥、灌水と簡単なものではありません。各々の項目については、その都度季節に応じて実施します。

芦屋市のバラ園ですから、いい加減ではなく、常に鑑賞にこれらの市民の方々のために、最高の状態にたく努力しています。

雨の日以外は、殆ど屋外で何かを行っております。これが私の健康で居られる原因かも知れません。

また、一般的に言われる早寝、早起きを実行。暴飲、暴食はしない。三度の食事は大体時間を守るようにしています。

要するに、無理無茶をしなければ現在の健康は維持できるということでしょう。



手塩に掛けたバラの手入れをする大原さん
（岩園町の岩が平公園で）



ペットご披露



家族はメロメロ

右から

「プリン」 4歳半。

「クッキー」 3歳半。

「ココア」 1歳半。

生まれて直ぐ、この順番でわが家にきたダックスフンドの女の子たちです。

彼女たちは

序列がはつきりしていて、

抱っこはま

ず先輩の

「プリン」

から、「ク

ッキー、

ココア」は

呼ばれるの

を、しつぽを

振りながら待

っています。け

ど、一匹だけかわい

がると、焼き餅を焼いて大

変。

毛並みとスタイルの良い

「プリン」はモデル犬とし

て登録されていますが、ち

よっとこわがり。「クッキ

ー」は人なつっこく。「コ



ココア」が一番腕白です。

大好きな散歩は、私の担当。芦屋川を毎日1時間。

川原の散策がお決まりのコースで、出来るだけ人気、いや犬気のない夕方で、特に夏場は熱気が収まる夜間を選びます。

特技は「マテ」。目のない好物のビスケットでも、「ヨシ」の声がないと、絶対食べません。

食事はドックフードと果物など。飼いやすく、冬などはコタツいらず。外出から帰ると留守番していた彼女たちの大はしゃぎに、私は勿論、家内と娘ももうメロメロ。

辰巳 繁和

（会員番号1241）

と ころ 変 わ れ ば . . .

花火といえは夏の風物の一つ。夜空に描く色鮮やかな一瞬の芸術。風呂上りの浴衣姿で縁側で楽しんだあの小さな線香花火はもう六十年前も前のことになる。時は過ぎ、生活様式も変わり浴衣を着て夕涼みをするのも今はない。



のどこかで大規模な花火大会が行われる。芦屋浜でもこのイベントに大勢の人がやって来て賑わう。我が家ではベランダからの見物、日頃ごぶさたの友人達を招き、冷えたビールやワインでちよつとしたパーティーをする。“ドーン”

と打ち上げられるたびに“わぁー”と喚声。子供の頃の思い出など話しながらひとときを過ごす。

イギリスでは花火は寒い季節のもの。花火の日、ボンファイヤーデーは十一月五日と決まっている。十六世紀、王に反逆した男のことに由来するとの事だ。十一月はもう真冬の暗さと寒さ、村の広場やパブの庭で大きな焚き火を囲んで暖かいスパイシーなムールドワインを飲みながら花火見物、広場にはルナパーク（移動遊園地）が来たりして子供達は乗り物やゲームに興じ、リングゴ飴を食べながら日頃連れて行つてもらえない夜のパブの雰囲気も楽しむ。

花火の大きさは芦屋のものとは比べものにならない小規模なものであるが、暗くて長い夜の楽しみの一つである。時には霧が濃くて音だけがドーン、ドーンとして花火は見えないこともある。十日程続くこの催しに若者たちは、あちこちの町や村をはしごする。

夏の海辺でアイスクリームを食べながら、高く澄んだ夜空の花火、今年はどんな新しい色と形の花が舞うのだろうと楽しみにしている。

坪内 美津子（会員番号1082）

絶品の海鮮料理

まるさん

芦屋のグルメ



店主の松本さん

2005年3月にオープンした「まるさん」は、旬の魚介類を煮焼物、刺身としてお出しする魚料理専門店のお食事処です。

営業時間は朝十時から夕方六時まで。昼の定食を中心に、一品もの、お酒を楽しんでいただけのお店で、お弁当の注文にもお応えいたします。

毎朝、神戸中央卸売市場での仕入れは、魚屋時代に学んだ経験を活かし、

その日の目玉、各地の名産を選びます。例えば明石のタイ、タコ、クロメバル、ウマズラ。和歌山のイサキ、山陰のマツバガニ、北海道の天然ホタテ・毛ガニ（写真）などなど。

定食は、活きの良い八、九種の魚介をトッピング、大名碗のみそ汁付き九百八十円の海鮮丼が一番人気。他に刺身、煮魚定食など十種類ほどを常備し、予約制で特別料理「店長のおすすめ」にも、心を込めた季節料理をお出しします。

客席が七席と少なく、店主一人がすべてをまかなうので、至らない点もあると思います。

しかし、お客様に育てられながら“鮮魚”を通し、愛と感謝の気持ちを含めて、ご利用頂けるお店と自負しております。

店主 松本 章太郎

常連の北川会員から一言「気取りのないくつろげるお店、予約が必要ですよー」



住所 芦屋市東山町29-25
☎ 090-9160-3937



まずお米の研ぎ方から



も 男子 専科! まかないも楽し



炒め物は火加減が大切

美味しそうに盛り付け



昔々 男子厨房に入るべからず
今々 男子エプロン姿板につき
事務局が企画した男性料理教室が
2月16日、市民センターで行われま
した。このユニークな催しも、はや
6回目。「なかなか楽しい」と、事務
局だよりでの紹介や、ロコミでも広
がり静かな人気を呼んでいます。
今回の献立は八宝菜・手羽なか焼
き・長いも梅肉あえ・杏仁豆腐。



なかなかの包丁さばき

大きさも丁寧に揃えて



分からないところは先生が手助け



2時間の努力でご馳走がずらり

編集後記

「目には青葉

山ほととぎす 初鯉」

素堂

地球温暖化が叫ばれて、世界の至る所、異常現象が発生しています。最近も回遊魚の鯖が瀬戸内で捕れず、なんと北の漁場で大漁とか。また、先日ニュースでは、中国の太湖で青藻が大量発生、生活水を太湖に依拠している上海市民に大打撃、飲み水が臭くて沸騰させても飲めないそうです。

家事援助の道すがら、(バスを利用して) 芦屋川開森橋から眺める城山辺りの水流が何とも美しく、目を楽しませてくれます。

梅雨期が少し遅れているようですが、そろそろ蛍の出番です。昨年は見られませんでした。今年はどうでしょうか？気がかりです。

「はつらつ芦屋」も次回は5号。設立20周年を祝って特集号にしたいと思っています。お楽しみに！

北川 知可子

はつらつギャラリー

ボトルシップ



制作 一瀬 奎次郎
(会員番号410)



日本丸 (初代)



カティ・サーク



勢ぞろいした帆船



ゴールデンハインド

撮影 笹部 成雄